

【日本医科大学付属病院 がん化学療法レジメン】

≪無断転載禁止≫

レジメン番号： CRC-124

対象疾患	レジメン名称	コース期間	総コース数	適応	催吐 リスク	根拠
大腸がん (RAS野生型)	Pmab + CPT-11	14日間	規定なし	<input checked="" type="checkbox"/> 進行/再発 <input type="checkbox"/> 術後補助化学療法 <input type="checkbox"/> 術前補助化学療法 <input type="checkbox"/> 放射線併用化学療法 <input type="checkbox"/> その他	中	Lancet Oncol 14: 749-59, 2013

	薬品名	投与量	投与 経路	投与 時間	Day													
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
①	ベクティビックス 生理食塩液	6mg/kg 100mL	点滴静注	60分	↓													
②	生理食塩液	100mL	点滴静注	60分	↓													
③	デキサート パロノセトロン	6.6mg 0.75mg/50mL	点滴静注	5分	↓													
④	イリノテカン 生理食塩液	150mg/m ² 500mL	点滴静注	90分	↓													
⑤	生理食塩液	50mL	点滴静注	5分	↓													

<注意事項/備考>

- ✓ Pmab：0.2または0.22μmのインラインフィルターを用いて投与
- ✓ 検査：定期的な血中Mg値のモニタリングを（適宜Mg補正を）
- ✓ Pmab：1回投与量として1000mgを超える場合は、90分以上かけて点滴静注すること
- ✓ インフュージョンリアクション（Pmab）：初回から2回目に発現することが多い。悪寒、発熱、呼吸困難など。必要に応じて抗ヒスタミン薬やステロイド剤の投与
- ✓ ざ瘡様皮疹・皮膚乾燥予防（Pmab）：皮膚を清潔に保ち、刺激を避ける。スキンケアや保湿剤で予防を。必要に応じてステロイド剤の使用
- ✓ 爪囲炎（Pmab）：遅発性（1か月後～）に生じることが多い。疼痛、爪の発達障害など。洗浄を行い、必要に応じてテーピングや外用ステロイド剤を

✓ 下痢（CPT-11）：急性症状（コリン様症状、前投薬に抗コリン薬併用などの検討）と慢性症状（活性代謝物による粘膜障害、必要に応じてロペラミドの検討）

